
魔法少女リリカルなのはStrikerS ~ 最恐と謳われた剣士

怒レイン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのはStrikerS 最恐と謳われた剣士

【Nコード】

N2617Y

【作者名】

怒レイン

【あらすじ】

ヒマなので書いてみました。ヒマな方は読んでみてください。文才はゼロですが・・・
あと本編はホテル・アグスタから始まります。

主人公のプロフィール（前書き）

とりあえず主人公のプロフィールです

主人公のプロフィール

オリ主プロフィール

名前

ゼノン・グレイス

役職

管理局所属・大将

・大将だったが執務仕事は相棒に丸投げし現場での仕事しかしない。
ゼノンが大将と知っているのは‘三提督’しか知らない。

魔法関係

・全て測定不能

好きなもの

・努力する人間・他人の為に自分の手を汚す人間・優しい人間

嫌いなもの

・欲を正義と騙る馬鹿・現実を見ない奴・他人の努力を掠め取る奴

性別や性格や容姿や人間性

・性別は男。性格は優しいが闘いは別で負けず嫌い。容姿は水色の髪で背中まで有りポニーテールでまとめていて目は青色をしている。顔は女顔だが凛々しさを感ぜられる。

デバイスのプロフィール

・ユニゾンデバイスで名前はアインス（前はリインフォースだった）
。消える運命だったが何らかの事故で消え無かったが夜天の書とのリンクが切れてしまい再度消えかけた時にゼノンに出会い契約しゼノンのユニゾンデバイスとなった。

刀（名前・レインス）はアインスとユニゾンした時に出てくる。

レアスキル

・魔力変換

雷・炎・風に魔力を変換でき、仲間の魔力も変換できる。

・無想モード

そこに居ない人間の力を汲み取り己の力に変換する。

技はあとで決めます。もしも見てくれた人がいたら、技やその効果を書いてください。もし書いて頂いた場合は戦闘時に採用させていただきます。よろしく願います（、、ゞ

プロローグ(前書き)

プロローグです

プロローグ

ゼノン「ヒマだね」アインス「

アインス「そうですねマスター」

いや本当にヒマだね」

ゼノン「そうだ。出かけるか。キール元帥に許可貰うってしばらく留守にするか」

アインス「許可は取ってあります」

ゼノン「さすがアインス。仕事がはやいね」

アインス「それで何処に行くのですか？」

ゼノン「ん？機動六課だよ」

アインス「本当ですか!？」

ゼノン「ああ。キール元帥に頼むか」

通信中……

ゼノン「〜って訳でお願いします」

キール「リミッターをどのくらい下げるのかね？」

ゼノン「とりあえずAまで下げます」

キール「わかった。彼女達の事はくれぐれも頼むよ」

ゼノン「任せてください」

通信終了

アインス「準備終わりました。マスター」

ゼノン「じゃあ行こうか、機動六課へ」

アインス「はい、マスター」

プロローグ（後書き）

ゼノンはとりあえずAまで下げますがリミッターは自分で外せます。
アインス（リインフォース）は魔力はSです。

ゼノンの年齢は17で体重は56?で身長は170?です。

ホテル・アグスタと自己紹介（前書き）

とりあえず一話です。

ホテル・アグスタと自己紹介

ゼノン「出向する前にミゼット幕議長から連絡が着て良かったよ」

アインス「そうですねマスター。もしかしたらしたら行き違いになっていたかも知れませんか」

本当だよ。さあ、行くぞって時に連絡が着たからな

アインス「しかし元主はやては無事でしょうか？」

それはわかんないが

ゼノン「なるようになるだろ。心配ならスピード上げるけど」

(ゼノンとアインスは現在空中にいます)

アインス「いえ。もう30秒経たずに着きますから。」

ゼノン「とりあえずユニゾンするか？」

アインス「そうですね」

「ユニゾン・イン」

さてと仕掛けますかね

アインス(あんまり暴れないくださいねマスター)

ゼノン「……心得ておく。それより、そろそろ仕掛けるぞ」

アインス「分かりましたマスター」

ドンパチに乱入するのは結構楽しいからな

ゼノン「ククッ」

アインス「どうしましたかマスター？」

ゼノン「なに、ガジェットがどのくらい脆いか想像しただけだ」

アインス（可哀相に。すぐに鉄屑になりますね）

はあとアインスがため息をしているが関係ない。

ゼノン「さて、一暴れするか！風牙特攻！」

ビュンッ……ドドドドーン……！！

ゼノン「弱いな」

アインス「既に15機の破壊を確認しています」

「てめえ何物だ!？」

ゼノン「ふむ？貴女は？」

「アタシはヴィータだ。お前は？」

ドカーン

ゼノン「自分はゼノン・グレイス三等空尉です！今日から機動六課
でお世話になります！」

バキヤツ

アインス（…マスター演技…上手ですね）

ヴィータ「…そうか。アタシはスターズの副隊長だが階級は同じだ
からな敬語じゃ無くていいぞ」

ドカーン

ゼノン「わかったよヴィータ」

ドカーン

『スターズ2へこちらロングアーチ。敵の反応全機ロストを確認。
任務終了したから戻ってきてください』

ヴィータ「スターズ2了解。と行くぞゼノン」

ゼノン「ああ」

しばらくして

「ヴィータお帰…り。リイン…フォー…ス？」

ヴィータ「違うぞはやて。今日から仲間になるゼノン・グレイスだ」

ゼノン「初めましてゼノン・グレイス三等空尉であります！」

はやて「機動六課・部隊長の八神はやてです。よろしく願いします。…あとお願いがあるんですけど、少しの間抱きしめて貰えますか？昔の家族に似ているので」

ゼノン「もしかしてリインフォースか？」

「！何故貴様がリインフォースを知っている！？」

はやて「まちいやシグナム！…で何でリインフォースを知っているやゼノンさん？」

ゼノン「はゝあ。アインス、ユニゾン・アウト」

アインス（ユニゾン・アウト）

はやて「う…そ？リインフォース？」

アインス「お久しぶりです。元主はやて」

はやて「リインフォース生きてたんやな」

アインス「はい。今のマスターと契約を交わしていますが。」

はやて「ゼノンさんって女？」

ゼノン「俺は男だ!!」

「『……………ええええええ!?!?』」

「嘘でしょ! リインフォースさんと瓜二つなの」

「目や胸が同じならリインフォースが二人になる」

「リインの大人バージョンみたいですよ」

ゼノン「とりあえず六課にいきませんか?」

はやて「そつやな。みんな帰るで」

「『はい!』」

「……………」

あの子危ないな。力を履き違えてるな。

1時間後…六課

ゼノン「改めて自己紹介します。ゼノン・グレイス三等空尉です」

アインス「マスターのユニゾンデバイスのアインスだ」

はやて「どうも。機動六課・部隊長の八神はやて二佐です。よろしくな。とりあえずスターズの隊長達から自己紹介してや」

なのは「分かったなの。初めまして、スターズ分隊長の高町なのは

一等空尉です。よろしくお願いします」

ヴィータ「さつきも言ったがスターズ副隊長のヴィータだよろし
くな」

はやて「次はライトニングや」

フェイト「初めましてライトニング副隊長のフェイト・T・ハラオ
ウン執務官です。よろしくお願いします」

シグナム「ふむ。ライトニング副隊長のシグナムだ。よろしく頼
む」

リン「次はフォワード達ですう」

ティアナ「……ティアナ・ランスター二等陸士です。……よろしく
お願いします」

ティアナに

スバル「…スバル・ナカジマ二等陸士です…。…よろしく願いま
す」

スバルに

エリオ「エリオ・モンディアル三等陸士です。よろしく願いま
す」

エリオに

キャロ「キャロ・ル・ルシエ三等陸士です。よろしくお願いします」

キャロね

ゼノン「よろしくな四人とも」

はやて「あとはロングアーチだけやね」

リイン「リインはリインフォース・ツヴァイ曹長ですう。よろしくですう」

リインに

シャリオ「シャリオ・フィニーノ一等陸士です。通称「シャーリー」です。それとデバイスマスターの資格も持っています。よろしくお願いします」

シャーリーに

ザフィーラ、シャマル、グリフィス、ヴァイス、アルト、ルキノと
続き

レイン「レイン・エルターナ三等空尉だ。よろしく頼む」

ゼノン「こちらこそよろしくお願いします。」

はやて「じゃあ質問タイムや！気になった事とか質問しいや」

なのは「はい。リインフォースさんとは何処で出会ったの？」

ゼノン「アインスとは任務の帰りに消えかった状態で出会った」

フェイト「元帥とは何処で出会ったの？」

アインス「キール元帥から直接の依頼があったときだ」

エリオ「何でそんなにアインスさんとゼノンは似ているのですか？」

ゼノン「分かん」

はやて「じゃあ質問タイム終了や。明日も訓練あるし早く休み」

「はい！」

「はい！」

ホテル・アグスタと自己紹介（後書き）

・風牙特攻

文字通り風の牙となり特攻を仕掛ける。通り抜けたとき周りのものは風の牙で破壊される。

オリキャラ紹介

レイン・エルターナ

魔力関係はオールS（普段はA）

優しいが天然。やるときは徹底的にやる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2617y/>

魔法少女リリカルなのはStrikerS ~ 最恐と謳われた剣士

2011年11月7日09時01分発行